

## Helleborus niger 黒クリスマスローズ

**総体的症状：**クリスマスローズまたはblack helleboreという名で知られている。略語の“hell（地獄、ひどい体験）”と形容詞の“black（黒い）”が何かを示唆しているとすれば、特徴的な症状の多くに納得がいく。生命力が低い、重篤な病気の状態で、患者の周辺のすべてが暗く見える。患者の顔、唇、手は黒ずみ、鼻孔からはすすが出る、したがって、暗い陰うつなレメディーである。**精神と脳**に影響を与え；感覚が鈍く、反応が緩慢になる；見ること、聞くこと、味覚が不完全。筋肉は意志に従わない、そのため、ふらつき、物を落とす。筋肉の衰弱から、最終的には完全に麻痺する。痙攣と筋肉のひきつり；自動的な動作；片手と片足の自動的な動き。病気は徐々に始まり、だんだん衰弱が進む。あおむけに横たわる、膝を抱えて、または股を開いて。水腫性の腫脹。てんかん；意識を伴う、深い眠りが後に続く。痙攣、非常な冷たさを伴う、乳児の。雑音から痙攣発作が起こる。発疹の抑圧、殴打、失恋の悪影響。弱々しい、繊細。片側の麻痺、もう一方の自動的な動き。漿液性滲出液。通常赤い部分が白くなる。

**悪化：**冷氣。思春期。生齒。抑圧。激しい活動。夕方、午後4～8時。接触。かがむ。

**好転：**症状のことを考えているとき、または気がそれているとき。

**精神：**完全なる無意識。不注意。鈍い、愚か；認識に時間がかかる、または無感動。憂うつ；陰うつ；絶望；ぼんやりした。他人の幸福をねたむ。何も考えずに凝視する。自責感からのヒステリー性躁病。不随意に歌う。いら立ち、＜慰め；邪魔されたくない。食べない、話さない。固定観念。思春期のうつ。物が新しく見える。小言を言う、あら探しをする。自分が悪い、自分はある特定の日に死ぬと思

い込んでいる、ただじっと座って、何も言わない、何もしない。脳卒中後の知的障害。

**頭部**：麻痺するような頭痛、くかがむ。撃ち抜かれるような痛みで、突然叫ぶ。症状を緩和するために、常に頭を左右に振る、うめきながら（水頭症）、または枕に頭を埋め込む（髄膜炎）。水がパシヤパシヤはねるような感覚。頭痛が嘔吐で終わる。頭を打つ。額に皺がよって折り重なっている（脳疾患）。脳振とう、頭部の打撃による、Arnicaが効かなかったとき。痙攣の前に、電気ショックが脳に走る。

**目**：半開き；落ちくぼんだ；上を向く；斜視。ぼんやり凝視する、または疲れて見える。夜盲症。羞明、炎症を伴わない。

**鼻**：嗅覚の衰え。すすけて広がった鼻孔。上を向いた鼻、こする。

**顔**：青白い；浮腫状の；赤い、熱い、または冷たい。神経痛、そしゃくすることができない。下顎の常時そしゃくする動き、顎がだらりと下がって口が開いている。冷や汗。

**口**：歯ぎしり。ひどい口臭。舌のしびれ、乾燥、震え、黄色い潰瘍で覆われている。唾液分泌過多、口角のひりひりする感覚を伴う。アフタ。喉の苦味、く食べること。

**胃**：野菜、肉、ザウアークラウト（塩漬け発酵キャベツ）を嫌悪。冷水をがぶがぶ飲む、スプーンをかむ、無意識に（水頭症）。乳児は食欲に乳を飲む。緑がかった黒いものを吐く、疝痛に伴って。食欲不振、脳の疾患に伴う。ほとんどの疾患に、喉の渴きを伴わない、あるいは喉が渇くが飲み物を嫌悪する。ひどい灼熱感、食道にまで広がる、妊娠中の。

**腹部**：まるで腸に水がいっぱいたまっているかのように、ゴボゴボいう。膨張。軟便、水っぽい、白いゼリー状の粘液；不随意。腹水症。完殻下痢。

**泌尿器**：尿、抑圧された、少量の、黒い小片や沈殿物を伴う、尿閉、膨張しすぎの膀胱、妊娠中の。腎炎。尿毒症。水腫。頻繁に尿意を感じ

る、わずかにしか排出しない。

**男性：**精巣水腫、発疹の抑圧による、左右どちらか。

**女性：**月経の抑圧、かぜまたは失恋による。子宮の水腫、四肢の突き刺さるような痛みを伴う。産褥痙攣、突然の雑音で止まる。

**呼吸器：**ため息。胸部の収縮。口を開けてあえぐ、寝床で起き上がる（水頭症）。乾いた咳く夜間に、または突然始まる、喫煙時。

**心臓：**遅い脈、弱脈、軟脈。

**首：**首のこわばり（髄膜炎）。

**四肢：**片方の腕と脚の自動的な動き、睡眠中以外の。親指が手のひら側に曲がる。姿勢を変えようとするたびに、脚が引き上がる。足の浮腫。

**睡眠：**昏眠、完全に起きられない。金切り声をあげたり、ぎくっとする、昏睡状態で。睡眠時の筋肉痙攣。

**熱：**腕から冷えが広がる。悪寒、発熱を伴う、発汗を伴う、露出を嫌う。冷え、発汗による。

**補完レメディー：**Zinc.

**関連レメディー：**Bry., Op., Zinc.

## Heloderma      アメリカドクトカゲ

**総体的症状：**アメリカドクトカゲと呼ばれる、このトカゲの毒は、振戦麻痺や、脊髄癆のような無感覚の麻痺状態を起こす。この毒の最も特徴的な症状は、極度の氷のような冷たさ、まるで凍ってしまったような、内側から外側にかけて。呼吸、舌が冷たい；肺と胸部の冷たい感覚；肩甲骨の冷たさ；脊椎の灼熱感。冷気が身体の周りをはい回るよう。患者は、歩行時によろめく。脚を高く上げ、踵を力強く地面に下ろす；スポンジの上を歩いているような、または足がはれ